別紙

黒部駅西側出口整備等利便性向上基本構想推進協議会

まち歩き点検の結果を踏まえた対応

■まち歩き点検でいただいたご意見への対応メニュー（まち歩き点検資料で既に提示している内容を除く）

区分	ご意見への対応メニュー
駅前 広場	バス停のサインを行き先やバスの接近状況等の運行情報を音声及び文字により案内するとともに、弱視（ロービジョン）者に配慮して視距離に応じた大きさの表示とする **→バス運転者により対応する。バス不在の時はバス事業者へ電話（スマートフォンの音声ガイダンス機能、音声認識の補助機能を使用）して頂く形で対応する。また、バス停までは触知案内図により案内する。**
	バス停（乗合自動車停留所）にベンチを設ける **→設置する。**
駅舎	電車とホームの間の隙間解消 **→電車とホーム間の隙間を解消するためには、まず車両の床面高が一定である必要がある。あいの風とやま鉄道では２種類の車両（413 系、521 系）を運用しており、これらの車両は床面高が異なる。また、将来的に運用する車両が１種類となるなど、車両の床面高が一定になったとしても、ホームの改良には多額の経費が見込まれるため対応は困難。介助が必要となる場合は、原則、事前連絡があれば駅員が対応する。（7 時 00 分～19 時 30 分）**
	ホーム中央に誘導ブロックを敷設 **→移動円滑化経路に誘導するために敷設を検討する余地はあるが、ホーム端側には既に誘導ブロックがあることを考えると、誘導ブロックを乱立させることによる弊害が考えられるため、現行通りとする。介助が必要となる場合は、原則、事前連絡があれば駅員が対応する。（7 時 00 分～19 時 30 分）**
	プラットホーム上のベンチに向けて誘導ブロックを設置 **→ベンチは移動円滑化経路と関係なく、誘導ブロックの乱立につながるため、現行通りとする。介助が必要となる場合は、原則、事前連絡があれば駅員が対応する。（7 時 00 分～19 時 30 分）**
	階段にセンターラインと上り下りのサインを整備 **→利用者数などを考慮し、設置の有無を今後検討する。**
	トイレに音声案内を設置（待合室から音声で案内する） **→あいの風とやま鉄道では、維持管理の観点から触知案内図を原則としています。今後、バリアフリートイレを設置する場合は、触知案内図で整備する。**
	跨線橋部分について、エレベーター設置に時間を要するのであれば、跨線橋へのスロープや駅構内踏切設置など、エレベーター―以外の高低差処理方法の検討 **→スロープを設置するためのスペースが無いため、エレベーター―での対応としたい。** **→踏切は安全性の観点から、対応は困難。**
道路	歩行者用信号の設置 **→富山県公安委員会と協議する。**
駐車場	送迎ピーク時の混雑解消のため、20 分無料の市営駐車場や駐停車施設の整備 **→駅西側広場を整備し、送迎スペースを設けることで、混雑の緩和を図る。**
その他	黒部駅における車いす利用者等の状況 **→令和５年 11 月～令和６年 10 月までの１年間** **・車いす利用者　９件** **・エスコート　　30 件（ベビーカー利用者や目の不自由な方に駅員が付き添った件数）**